

差出人： [日本学術会議事務局](http://www.rpsj.org)
宛先： info@rpsj.org
件名： 【SCJ】日本学術会議ニュース・メールNo.754
日付： 2021年6月18日 15:00:24

=====
** 日本学術会議ニュース・メール ** No.754** 2021/6/18
=====

1. 日本学術会議主催学術フォーラム 企画案の募集について
2. 【開催案内】
日本学術会議 中部地区会議主催学術講演会
「高齢社会を生きぬくための取り組み」の開催について
3. 【文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課】
令和3年版科学技術・イノベーション白書について
4. 【文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課】
研究支援サービス・パートナーシップ認定制度(A-PRAS)について

■ 日本学術会議主催学術フォーラム 企画案の募集について

会員、連携会員の皆様へ

現在、日本学術会議主催学術フォーラムの企画案を募集しています。
関心のある方は以下をご確認いただき、手続きの上、お申込みください。

令和3年度第3四半期募集分
開催予定時期：令和3年10～12月
申込み締切：令和3年7月30日（金）

- ・必要書類・手続き等：以下のURLをご確認ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/scj/kisoku/106.pdf>

- ・オンラインによる開催に引き続きご協力をお願いいたします。

■ 【開催案内】

日本学術会議 中部地区会議主催学術講演会
「高齢社会を生きぬくための取り組み」の開催について

■ 【日時】 2021/7/30（金）13:00～16:30

【場所】 金沢大学自然科学大講義棟レクチャーホール
+オンライン配信併用

【主催】 日本学術会議中部地区会議

【共催】 金沢大学、学術変革領域（A）「生涯学」

【開催趣旨】

人生100年時代に突入している我が国において、健康に生きるということが多くの人にとっての関心事です。社会の高齢化が加速する中、医療の観点から、認知症や生活習慣病に対する予防を目指したプロジェクト研究が、大学と地域との連携によって実施されてきました。また、社会福祉の現場では、石川発の「ごちゃまぜ」の概念に基づく共生社会を目指したユニークな取り組みが展開され、全国的にも注目されています。

本講演会では、これまでの研究・実践成果や今後の展望を含めた取り組みを紹介します。

【次第】 <http://www.scj.go.jp/ja/event/2021/308-s-0730.html>

【参加費】 無料

【要・事前申し込み】

以下のURLからお申し込みください。（締切：7月26日（月））

<https://ws.formzu.net/fgen/S12764568/>

※申込みフォームは対面・オンライン参加共通です。

【問合せ先】

日本学術会議中部地区会議事務局（名古屋大学研究協力部研究企画課内）
電話：052-789-2039
または、金沢大学研究・社会共創推進部研究推進課
電話：076-264-6140

■
【文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課】
令和3年版科学技術・イノベーション白書について

令和3年6月8日、「令和2年度科学技術・イノベーション創出の振興に関する年次報告」、いわゆる令和3年版科学技術・イノベーション白書が閣議決定されました。

今回の白書の特集は「Society 5.0の実現に向けて」です。「Society 5.0」として我が国が目指す未来社会や、その実現に向けた最先端の取組を紹介しています。また、「Society 5.0」を感じていただくため、白書冒頭に「Society 5.0」のイメージをイラストにして掲載しております。このイラストは、後日、ポスターにして、全国の教育委員会や科学館等に配布予定です。

萩生田大臣は、6月8日の会見で、「この白書をご覧いただき、科学技術・イノベーションに関心を持っていただくとともに、より良い未来社会を創造していく上で、科学技術・イノベーションが重要な役割を果たしていくことについて、理解を深めていただけることを期待しております。」と述べました。

本白書の内容は、以下のサイトよりご覧いただけます。

https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpaa202101/1421221_00023.html

なお、本白書についてご質問等ございましたら、文部科学省の次の担当者までお問い合わせください。

文部科学省 科学技術・学術政策局 企画評価課 総括係
E-mail:kagihaku@mext.go.jp（*を@にご変更ください）

■
【文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課】
研究支援サービス・パートナーシップ認定制度(A-PRAS)について

文部科学省では、民間事業者が行う研究支援サービスのうち、研究者の研究環境を向上させ、我が国における科学技術の推進及びイノベーションの創出を加速すると認められる優良なサービスを認定する「研究支援サービス・パートナーシップ認定制度（A-PRAS）」を行っています。

令和元年に開始したこの制度では、令和元年度には8件、令和2年度には1件のサービスを認定しました。本制度の概要及び認定した9件のサービスの概要は以下のサイトよりご覧いただけます。

https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kihon/1422215_00001.htm

なお、本制度についてご質問等ございましたら、文部科学省の次の担当までお問い合わせください。

文部科学省 科学技術・学術政策局 企画評価課 総括係
E-mail:nintei@mext.go.jp（*を@にご変更ください）

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから
<http://jssf86.org/works1.html>

日本学術会議ニューズメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようお取り計らってください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。
<http://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34